

## 令和3年度 事後評価点検表（内部評価）

### 1 事業概要

事業名	一般国道480号（父鬼バイパス）道路改良事業									
担当部署	都市整備部 道路室 道路整備課 建設グループ（連絡先 06-6944-9276）									
事業箇所	和泉市松尾寺町～父鬼町									
事業目的及び事業内容	<p><b>【事業目的】</b> 一般国道480号は、大阪府と和歌山県を結ぶ広域幹線道路であるが、大阪府和泉市から和歌山県伊都郡に至る府県間峠部（和泉山脈）は、勾配が急峻で、幅員も狭小なため、通過車両の離合も困難であり、更に急カーブも多く交通の難所となっている。このため、これらの課題を解消し、大阪府と和歌山県の交流・連携強化、沿線住民の安全・利便性向上を図るために、バイパス道路を整備する。</p> <p><b>【事業内容】</b> 延長 4.45km 幅員：7.5m～10.5m          ・車道：2車線（3.0m×2）          ・自歩道：片側（3.0m）          ・トンネル：2箇所（0.3km・1.5km）          ・橋梁：5橋（305m）</p>									
関連事業とその現状	—									
社会経済情勢の変化	<p><b>【本路線の状況】</b> 平成29年4月 供用開始</p> <p>[供用後交通量]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年（センサス）</th> <th>平成29年11月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12時間交通量</td> <td>478台</td> <td>5,152台</td> </tr> <tr> <td>24時間交通量</td> <td>598台</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※計画交通量 4,776台/日</p>		平成27年（センサス）	平成29年11月	12時間交通量	478台	5,152台	24時間交通量	598台	—
	平成27年（センサス）	平成29年11月								
12時間交通量	478台	5,152台								
24時間交通量	598台	—								
事業実施による自然環境の変化	事前の大気汚染、水質汚濁、騒音、振動の環境への影響について、周辺の影響に及ぼす影響は軽微なものと考えられており、現状においても自然環境に大きな変化はない。									
最終評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—									

### 2 事業効果の分析等

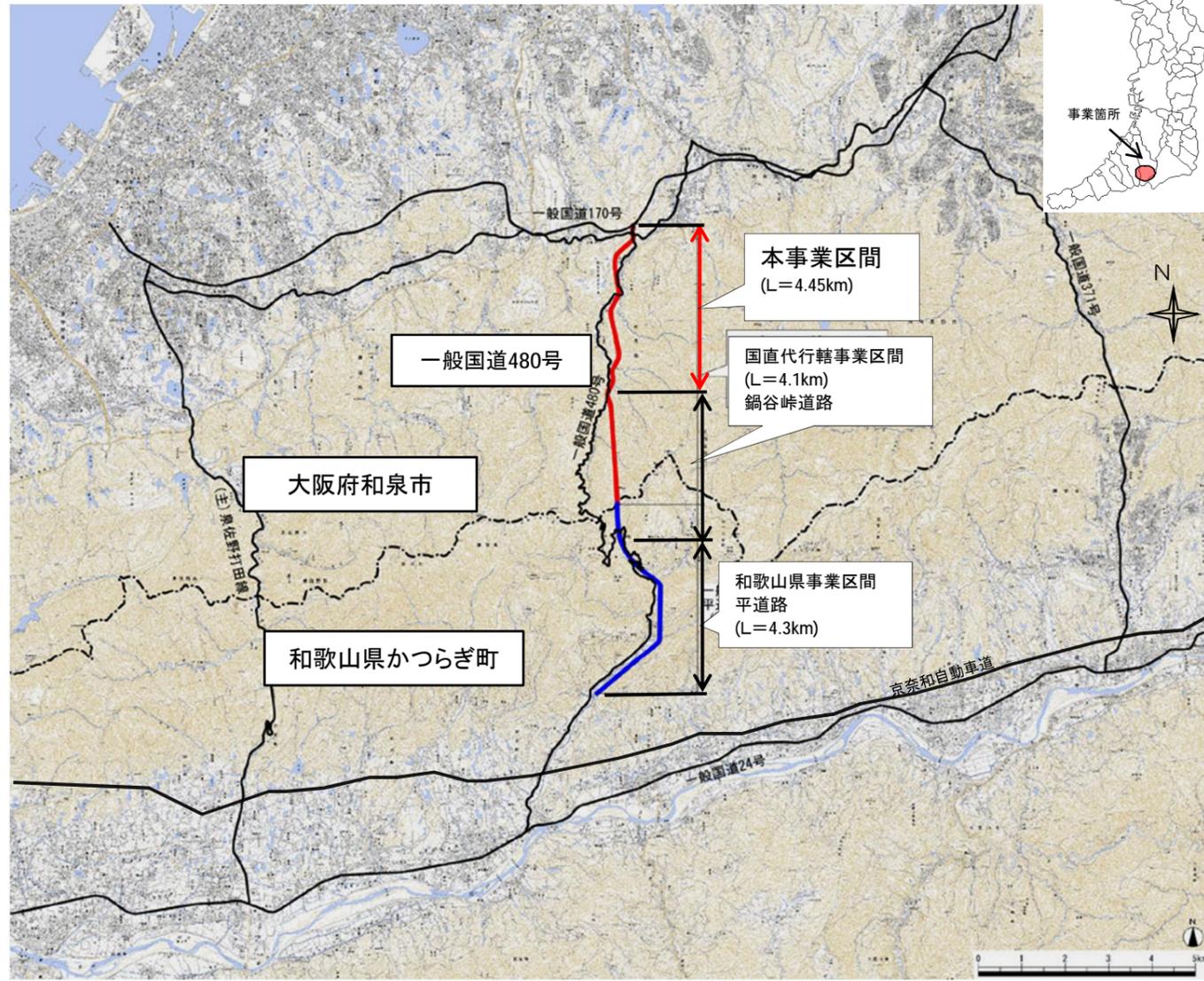
	最終評価時点 H27	事後評価時点 R3	変動要因の分析
事業費	129.7億円 〔国：71.3億円、府：58.4億円〕	124.6億円 〔国：63.1億円、府：58.6億円〕	事業費精査による減
経過 ①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	① 21年 ② H8年度 ③ H8年度 ④ H28年度	① 21年 ② H8年度 ③ H8年度 ④ H28年度	予定通り完成 (H29.4.1 供用開始)
定量的効果 (費用便益分析等)	<p><b>【効果項目】</b> ・走行時間距離 ・走行経費減少 ・交通事故減少</p> <p><b>【分析結果】</b> B/C=1.31 B=224.3億円 C=171.7億円</p> <p><b>【算出方法】</b> 国土交通省「費用便益分析マニュアル（平成20年11月）」により整備延長4.45kmで算定)</p> <p><b>【受益者】</b> ・道路利用者、沿道住民</p>	<p><b>【効果項目】</b> ・走行時間距離 ・走行経費減少 ・交通事故減少</p> <p><b>【分析結果】</b> B/C=1.28 B=277.3億円 C=217.2億円</p> <p><b>【算出方法】</b> 国土交通省「費用便益分析マニュアル（平成30年2月）」により整備延長4.45kmで算定)</p> <p><b>【受益者】</b> ・道路利用者、沿道住民</p>	・費用便益分析マニュアルの改訂及び評価基準年の変更に伴い、便益、費用が増加している。
事業効果の定性的分析 (安全・安心、活力、快適性等の有効性)	<p><b>【効果項目】</b> ・安心・安全 歩車分離による交通安全機能の向上 ・活力 地域間交流連携の強化 ・快適性 線形改良による事故回避等、道路利用者の大幅な運転効率の向上</p> <p><b>【受益者】</b> ・道路利用者 ・沿道住民</p>	<p><b>【効果項目】</b> ・安心・安全 同左 ・活力 同左 ・快適性 同左 ・防災 広域緊急交通路に指定</p> <p><b>【受益者】</b> ・道路利用者 ・沿道住民</p>	・所期の目的を達している。
その他特記事項	—		

### 3 評価結果と今後の同種事業に対する改善措置等

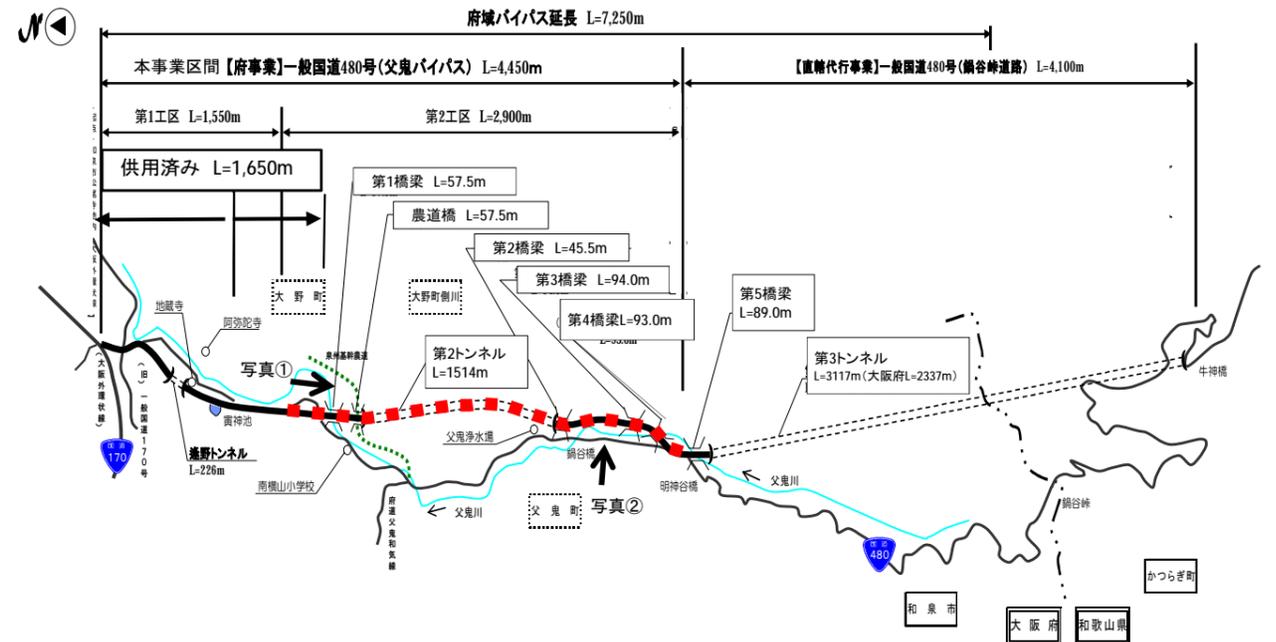
評価結果 (事業効果の発現状況等)	・本事業により、勾配急峻、幅員狭小で車の離合も困難、更に、急カーブも多く交通の難所であった区間の、通行車両や歩行者等の安全性確保や利便性向上が図られた。
今後の同種事業に対する改善措置等	—

# 令和3年度 事後評価 一般国道480号(父鬼バイパス)道路改良事業

## 事業箇所図

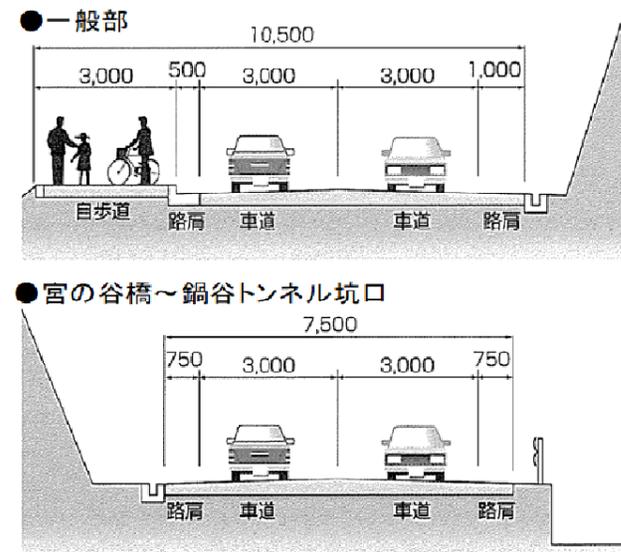


## 平面図

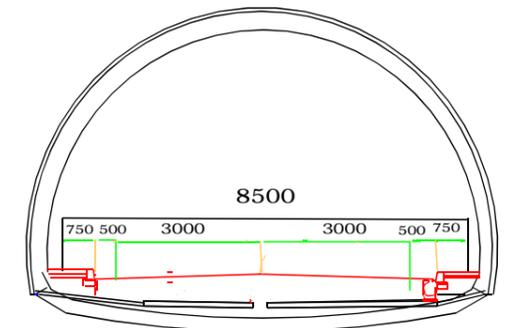


## 標準断面図

【単位:mm】



●父鬼トンネル



## 現況写真

写真①



写真②

